
bアクセスWiFi 使用説明書

はじめに

bアクセス(以下、「本ソフトウェア」といいます)はbモバイルによる通信をより快適にご利用いただくためのソフトウェアです。

おことわり

本ソフトウェアは、本製品の使用許諾契約のもとでのみ使用することができます。

お客様が本ソフトウェアを使用したことにより、被ったいかなる直接的、間接的または、偶発的損害も賠償いたしかねますので、ご了承ください。

使用されているパソコンのシステム構成他によっては正常に動作しなかったり、全く動作しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

本ソフトウェアの一部または全部を無断で複製、販売、譲渡、ネットワークにより提供することを禁止します。

本ソフトウェアの仕様及びマニュアルに記載されている事項は、将来予告無しに変更することがあります。

本ソフトウェアを改造、変更すること、及び本ソフトウェアの機能等に変更を加えることを目的としたプログラムを作成、使用、譲渡、貸出またはネットワークにより提供することを禁止します。本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることを禁止します。

動作環境

オペレーティングシステム: Microsoft Windows XP

ブラウザ: Microsoft Internet Explorer

Internet Explorer を使用しない場合も、本ソフトウェアのインストールを行う前に、オペレーティングシステムの最新のサービスパックをインストールしておいてください

Windows XP は、米国 Microsoft Corp.の登録商標です。その他、商品名および製品名などは各社の商標または登録商標です。

b アクセスWiFi for U100シリーズ
b アクセスWiFi for U50シリーズ
b アクセスWiFi for Bb100-721
b アクセスWiFi for Bb50-721

使用説明書

Windows XP

本ソフトウェアは b-mobile 専用です。

その他のデータカードでの動作保証はいたしかねますので、予めご了承ください。

bアクセスをご利用になる場合は、あらかじめパソコンにbモバイルデータカードのドライバをインストールし、パソコンがカードを認識している必要があります。

この b アクセスは Windows XP 専用です。そのほかの OS ではご利用いただけません。

また、このソフトウェアを利用するためには管理者権限が必要です。

0. b アクセスについて

b アクセスは b モバイル専用のソフトウェアです。本ソフトウェアの利用には b モバイルが必要です。本ソフトウェアを利用することで無線 LAN と PHS の接続を WindowsXP から簡単に行うことができます。

1. bアクセスWiFiの起動

bアクセスの起動

1. デスクトップのbアクセスのショートカットをダブルクリックします。



bアクセスWiFiのアイコン

2. bアクセスWiFiが起動します。bアクセスWiFiは b モバイルデータカードが存在しない場合でも起動することが可能です。

3. 基本的なインターフェイスはこれだけで、非常にシンプルな画面構成になっています。



設定ボタン

b アクセスの詳細設定を行うための設定ウインドウを表示します。

コメント欄

それぞれの状態はここに文字列で表現されます。

インジケータおよび接続・切断ボタン

b アクセスの接続状態のインジケータと接続・切断ボタンを兼ねています。

2. bアクセスのインターフェイス(インジケータ)



PHS・無線 LAN とともにREADY状態

この状態でボタンをクリックすると、PHS・無線 LAN に接続可能です。

b アクセスは接続状態によってインジケータの表示が変化します。



PHS に接続、通信中



無線 LAN に接続、通信中

各ボタン表示はステータスにより以下のように変化します。

	利用出来ない場合	利用可能な状態	接続・通信中
	PHS や無線 LAN カードが認識されていない。 または、利用できる無線 LAN アクセスポイントがない状態です。	カード等が認識され、通信がスタンバイな状態。ボタンをクリックすると、接続が出来ます。	インジケータのボタンをクリックすると、接続を切断します。
PHS	PHS	PHS	PHS
無線 LAN	無線 LAN	無線 LAN	無線 LAN

3. 設定

1. PHS 接続設定

a) PHS-接続(ダイヤルアップ接続を行う。)

接続タブでダイヤルアップ接続の設定を行うことができます。

The screenshot shows the 'PHS' settings window with the '接続' (Connection) tab selected. The 'アクセスポイント' (Access Point) dropdown menu is open, showing a list of options: 0570570130, 0570570130, 0570570138, and 0570570157. The '通信モード' (Communication Mode) section has two radio buttons: 'シングルリンク' (Single Link) and 'マルチリンク' (Multi-Link), with 'マルチリンク' selected. A '確認' (Check) button is located next to the '有効期限' (Validity Period) field. The '状態' (Status) field shows '未接続です' (Not connected). At the bottom, there is a checkbox for 'リダイヤル' (Redial) and two buttons: '閉じる' (Close) and '適用' (Apply).

アクセスポイントが選択できます(複数ある場合)。

通信モードの切替ができます。
シングルリンク/マルチリンクモード

カードの有効期間を確認することができます。

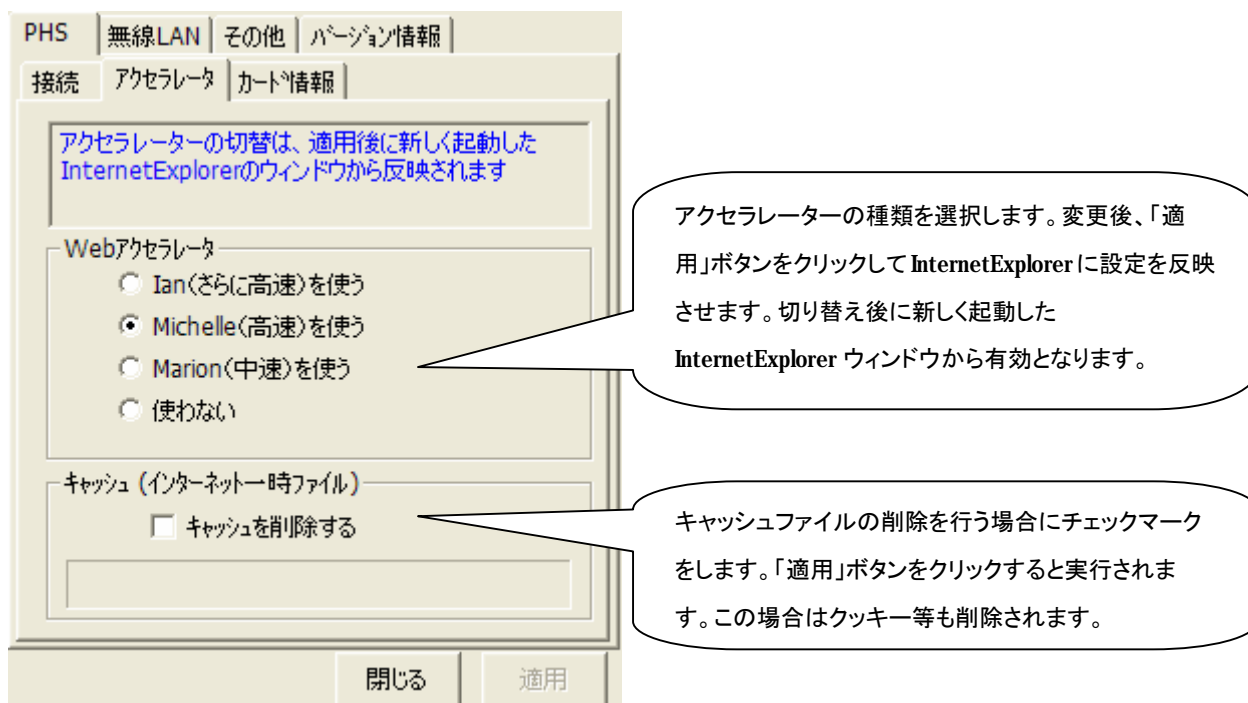
チェックボックスにチェックを入れるとリダイヤルが行えます。

注1) Windows のダイヤルアップ接続アイコンから設定に変更を加えた場合、それらの設定は b アクセスには反映されません。

注2) 同じモデムを使用するダイヤルアップ接続が複数ある場合は、接続済みのダイヤルアップ接続を切断してからもう一方のダイヤルアップ接続を行ってください。

b) PHS-アクセラレーター（アクセラレーターの設定切替を行う）

Web アクセラレーターの切り替え、キャッシュファイルの削除（インターネット一時ファイルの削除）を行うことができます。



- 注1) b アクセス以外でアクセラレーターの設定を行った場合は実際のアクセラレーターの設定が正しく表示されない場合があります。
- 注2) この機能でアクセラレーターの設定を切り替えると、HTTP 以外で設定していたプロキシサーバーの情報や例外の設定情報は失われますのでご注意ください。

c) PHS-カード情報(通信カード(PHS)の情報および周囲の電波状況の確認)

カード情報タブで通信カード(PHS)の情報を表示することができます。ダイヤルアップ接続中は測定できません。接続を切断すると「測定」ボタンがアクティブに変わり測定ができます。電波状況は測定場所、測定時間によって異なります。接続状態での電波状況を示すものではありません。



使用モデム・PHS 番号・ファームウェア・・・ご使用の通信カードの情報を表示します。

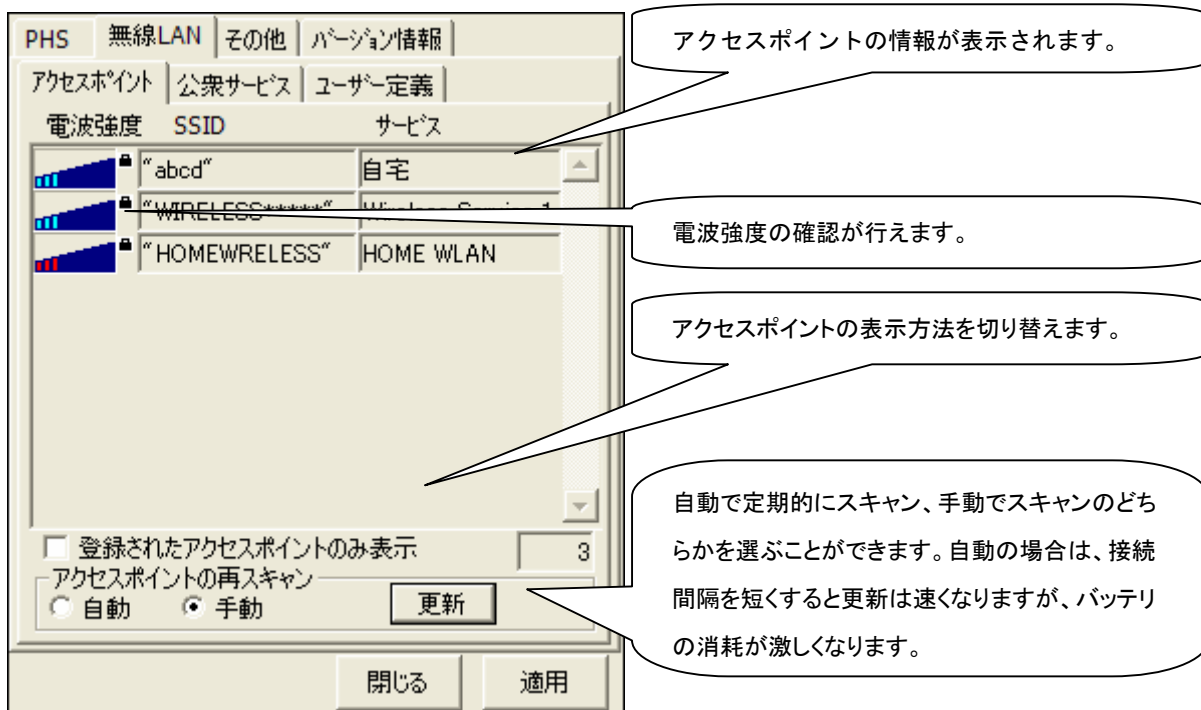
空きチャネル・・・測定を行った時点での基地局との接続が可能な通信リンクの数を表示します。最大は4です。

電波強度・・・カードから見える基地局の数と、それぞれの基地局のカードに到達した電波の強度を表示します。電波強度の横方向は基地局の数を、縦方向はそれぞれの電波の強さを示します。


2. 無線 LAN 接続設定

a) 無線 LAN-アクセスポイント(無線 LAN アクセスポイントの検索)

アクセスポイントタブで現在のアクセスポイントの確認を行うことができます。



公衆サービスまたはユーザー定義で定義されていない接続先(アクセスポイント)を確認した場合には次のような赤色のアンテナで表示されます。

 登録されたアクセスポイント

 登録されていない(b アクセスで接続できない)アクセスポイント

鍵マークはアクセスポイントにセキュリティ(WEP等)がかかっています。

- 注1) アクセスポイントがその存在を隠している場合、それらのアクセスポイントをbアクセスで発見できないことがあります。
- 注2) 無線 LAN カードによって信号レベルは異なるため、電波強度は目安にしてください。
- 注3) 公衆無線 LAN ローミングサービスのご利用には、ユーザー登録が必要となります。

b) 公衆無線 LAN- 公衆サービス(アクセスポイントの設定)

公衆サービスタブで公衆無線LANに関する接続の可否などを設定します。

The screenshot shows the 'Public Service' tab in the PHS settings. The 'Service Name' list includes 'HotSpot(NTT-COM)', 'JR東日本', 'JR東海', 'BizPortal', 'みあこねっと(PPTP)', and 'FREESPOT'. Below the list is a detailed description of the selected service, including exchange rates for U100 and U50 series. At the bottom, there are checkboxes for 'Do not use this service' and 'Show confirmation message at connection', and buttons for 'Close' and 'Apply'.

Callout 1: 情報を表示、変更するサービスを選択します。

Callout 2: 選択している公衆無線 LAN の接続優先度を変更できます。

Callout 3: 選択している、各サービスの説明を表示します。公衆無線 LAN 接続時にも同様の確認メッセージが表示されます。等価交換日数などの確認を行ってください。

Callout 4: 選択しているサービスの利用を停止します。

Callout 5: 選択している公衆無線 LAN の接続時に確認メッセージを表示します。通常間違った接続を防止するためチェックを入れることをお勧めします。

- 注1) ご利用いただけるサービスは随時増減致します。最新の設定をご確認ください。これらの設定はbアクセスの自動更新機能でアップデートさせることが可能です。
- 注2) 等価交換方式による PHS の利用日数との交換レートは場合により変更になります。最新の設定をご確認ください。それらの設定は b アクセスの自動更新機能でアップデートさせることが可能です。
- 注3) 一部のスポットでは公衆無線 LAN サービスに独自の認証を追加している場合があります。この場合接続できないことがあります。(ブラウザにて認証画面が開くことがあります。)

公衆無線 LAN サービスに必要な設定を確認する

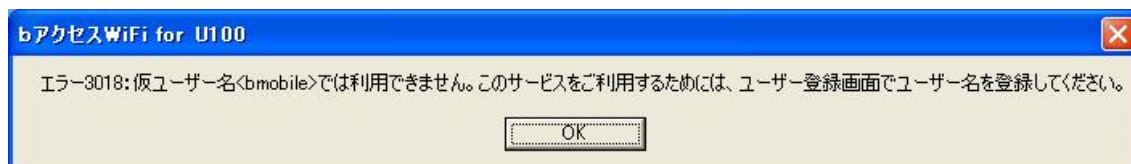
公衆無線 LAN サービスをご利用になる場合はユーザー登録を行い、オリジナルなユーザーID とパスワードを設定する必要があります。オリジナルなユーザーID とパスワードを設定ユーザー登録画面から行えます。初期パスワードで PHS サービスをご利用頂くことは可能ですが、公衆無線 LAN サービスはご利用いただけません。

PHS	無線LAN	その他	バージョン情報
ユーザー名	パスワード	有効期限	
*****	*****	04/04/08	

ダイヤルアップ接続で保存されているユーザー名、パスワードが表示されます。

初期 ID およびパスワードにて公衆無線 LAN をご利用いただくことは出来ませんので、オリジナルの ID およびパスワードを利用する必要があります。

初期パスワードにて公衆無線 LAN への接続を試みた場合は次のような警告が出て、アクセスすることが出来ません。

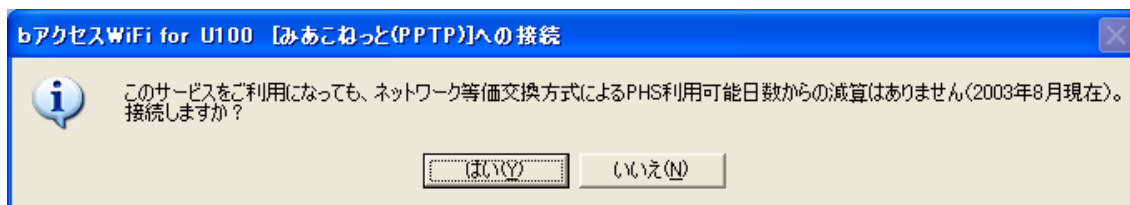


公衆無線 LAN 接続方法 1

b アクセスの状態を確認してください。無線 LAN のインジケータがグレイアウトしておらず、薄い緑色になっており、READY 状態になっていることを確認してください。この図の状態では、PHS・無線 LAN とともにREADY状態を示しています。



無線 LAN 接続ボタンを押すと、b アクセスがローミング接続を始める前に、確認画面が表示されます。この時点で「いいえ」ボタンを押してキャンセルした場合、接続は完了しません。意図しない公衆無線 LAN サービスとの接続が起こる場合には、「公衆無線 LAN」タブの「このサービスは利用しない」をチェックして、不必要な接続を抑制してください。



「はい」ボタンを押すと、b アクセスは以下のような手順で無線 LAN の接続を行います。

- 1) 対象のアクセスポイントへ接続する。
 - 2) IPアドレスが取得されるまで待機する。
 - 3) ユーザー認証を実行する。
 - 4) 認証が正常に完了したことを確認する。
- 1)～4)の間は「無線LAN」ボタンの表示は薄い緑色と濃緑色の点滅となります。



無線 LAN に接続、通信中

接続が完了すると、無線 LAN のアイコンが濃緑色になり、接続が完了したことが確認できます。無線 LAN のログオフおよび切断時にはもういちど、無線 LAN のボタンをクリックしてください。

公衆無線 LAN 接続方法 2

b アクセスの状態を確認してください。



一部の公衆無線 LAN では、ESSID をブロードキャストしていない(アクセスポイントがあることを非公開としている)ため、b アクセスで正しく認識できません。利用できるエリア内にもかかわらず、b アクセスが正しく反応しない場合には公衆サービスタブ内の接続ボタンを利用して強制接続を行ってください。



c) 無線 LAN-ユーザー定義(アクセスポイントの接続設定を行う)

ユーザー定義の無線LANに関する接続の可否などを設定します。

ここで設定した項目については、公衆無線 LAN の設定に優先されます。

The screenshot shows a web-based configuration interface for wireless LAN settings. The interface includes a navigation menu at the top with tabs for 'PHS', '無線LAN', 'その他', and 'バージョン情報'. Under the '無線LAN' tab, there are sub-tabs for 'アクセスポイント', '公衆サービス', and 'ユーザー定義'. The main content area is titled 'サービス名' and contains a list of service names. A checkbox labeled '接続時に確認メッセージを出す' is checked. Below this are input fields for 'SSID' and 'WEP Key'. At the bottom, there are buttons for '追加', '編集', '削除', '閉じる', and '適用'. Callouts provide detailed instructions for each of these elements.

情報を表示、変更するサービスを選択します。

選択している無線 LAN の接続時に確認メッセージを表示します。通常間違った接続を防止するためチェックを入れることをお勧めします。

接続先の SSID を確認します

新しく接続先を追加します。

選択している接続先を編集します。

選択している接続先を削除します。

選択している無線 LAN の接続優先度を変更できます。上に表示されているものを優先に接続します。

選択している接続先の接続確認メッセージを表示します

選択している接続先の WEP キーを表示します。(***で表示)

ユーザー定義の無線 LAN 追加・変更・削除(アクセスポイントを登録する場合)

ユーザー定義の無線LANを登録する場合

ユーザー定義の無線 LAN 接続設定(前項を参照)で、新しい接続先を追加するため、追加ボタンを押して、ユーザー定義の追加ウィンドウを呼び出します。

The '追加' (Add) dialog box contains the following fields and controls:

- サービス名 (Service Name): Text box containing '自宅' (Home).
- 接続時に確認メッセージを出す (Show confirmation message at connection).
- 確認 (Confirmation): List box containing '自宅のネットワーク環境' (Home network environment).
- SSID: Text box containing 'abcd'.
- WEP-Key: Text box containing '*****'.
- 非公開のアクセスポイント (Non-public access point).
- Buttons: 'OK' and 'キャンセル' (Cancel).

ご利用の無線 LAN の接続に必要な情報を登録してください。

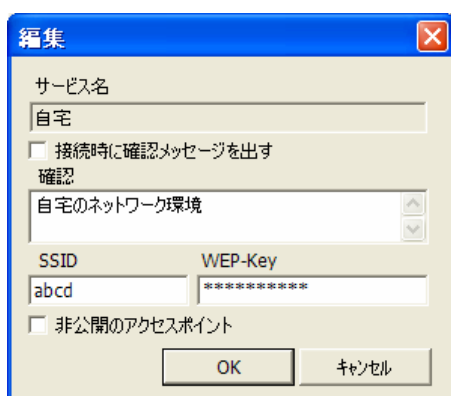
「OK」を押した後に、メインウィンドウに戻り適用ボタンを押して反映させます。

The main window shows the '無線LAN' (Wireless LAN) tab with the 'ユーザー定義' (User-defined) sub-tab selected. The 'サービス名' (Service Name) list contains '自宅' (Home). The '接続時に確認メッセージを出す' (Show confirmation message at connection) checkbox is unchecked. The '確認' (Confirmation) list box contains '自宅のネットワーク環境' (Home network environment). The 'SSID' field contains 'abcd' and the 'WEP Key' field contains '*****'. At the bottom, there are buttons for '追加' (Add), '編集' (Edit), '削除' (Delete), '閉じる' (Close), and '適用' (Apply).

ユーザー定義が反映され、利用準備が整いました。

ユーザー定義の無線 LAN 接続設定を変更

一度登録を行った内容に変更を行う場合、変更を加える接続先を選択して、「変更」ボタンをクリックします。ユーザー定義の編集ウィンドウが呼び出されます。サービス名以外の項目の編集が行えます。



ご利用の無線 LAN の接続に必要な情報を登録してください。

「OK」を押した後に、メインウィンドウに戻り適用ボタンを押して反映させます

3. その他

設定を確認・変更する

設定タブでは PHS に関連した b アクセスの設定の確認・変更を行えます。設定の変更は各項目のチェックボックスで行うことができます。(チェックが入っている場合は ON) 変更後「適用」ボタンをクリックするとすぐに変更が反映されます。

The screenshot shows the 'PHS' settings window with the following elements and callouts:

- 有効期限**: A callout explains that the validity period is displayed, but it may not be automatically obtained or correctly displayed in some cases.
- PHS設定**: A list of checkboxes with callouts:
 - bアクセスを起動したら自動的に[接続]する
 - bアクセスを起動したら自動的に[測定]する
 - 接続が完了したらブラウザを起動する
 - 接続が完了したらメールソフトを起動する
 - アクセラレータを変更したらブラウザを起動する
 - bアクセスの起動時にダイヤルアップ接続設定をリフレッシュする
 - 接続されたら有効期限を自動的に取得する
 - 接続が切断されたら再接続する
- 自動アップデート**: A callout explains that this is a function to update the b access software, settings files, and access points.
- 更新確認**: A callout explains that detailed settings can be changed using checkboxes, and the '適用' button reflects the changes.

・b アクセスを起動したら自動的に[接続]する— 起動してすぐにダイヤルアップを開始します。「起動したら自動的に[測定]する」設定が同時にされている場合は測定後に接続を開始します。

・b アクセスを起動したら自動的に[測定]する— 起動すると電波強度測定をします。

・接続が完了したらブラウザを起動する— 接続完了後「標準で使用しているブラウザ」を起動します

・接続が完了したらメールソフトを起動する— 接続完了後「標準で使用しているメールソフト」起動

アクセラレーターを変更したらブラウザを起動する— アクセラレーターの変更後「適用」ボタンをクリックするとブラウザが新たに起動します。

b アクセスの起動時にダイヤルアップ接続設定をリフレッシュ—ダイヤルアップ接続設定をリフレッシュします。

接続されたら、有効期限を自動的に取得する。— ダイヤルアップ完了後、有効期間を取得します。

接続が切断されたら再接続する-切断が起こった場合再び接続する。

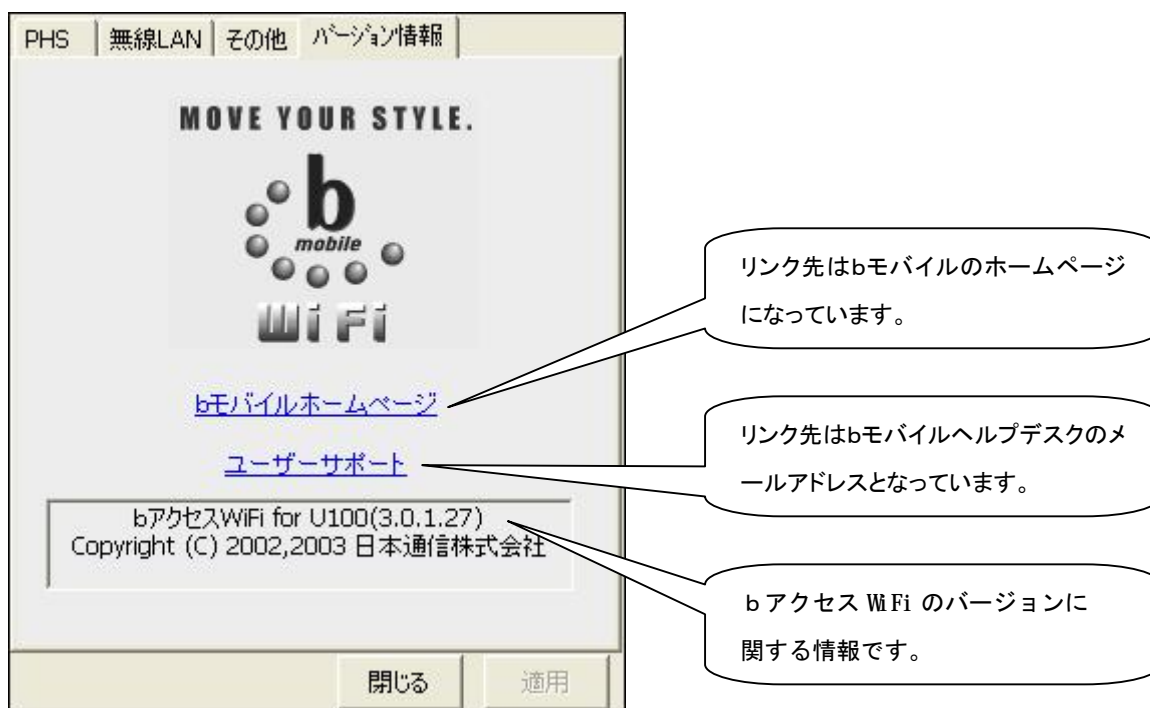
注1) ユーザー名、パスワード、通信モードの項目は「適用」ボタンをクリックすると保存されます。

注2) ユーザー名とパスワードを変更して接続するには、bモバイルユーザー登録ページからご自身の認証ユーザー名・パスワードを事前に変更しておく必要があります。有効期限が最新の情報の時は、日時が青色で表示されます。

4. バージョン情報

バージョンを確認する

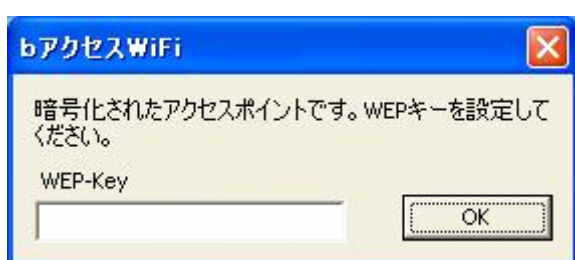
バージョン情報タブでbアクセスの情報を確認することができます。



5. ワンポイント

●WEP キーの入力

[設定]-[無線 LAN]タブの「公衆サービス」または「ユーザー定義」において「WEP キーなし」が標準の設定になっているアクセスポイント(“freespot”や“みあこネット”など)において、実際にご利用になるアクセスポイントに WEP キーが設定されていた場合は、bアクセスは WEP キーの入力を求めます。その場合には、アクセスポイントの運営者から WEP キーを入手して入力してください。



また、入力ミスがあった場合次の警告が表示されます。



●自動アップデート

PHS でインターネット接続を行った状態からbアクセス本体や設定、アクセスポイント情報をアップデートすることができます。

自動アップデート
 手動
 bアクセス起動時
 1日に1回

更新確認

「手動」時には更新確認ボタンを押したとき更新されます。それ以外の設定では自動的に更新の確認が行われます。



bアクセスの更新

更新対象	バージョン	更新状況
<input checked="" type="checkbox"/> bアクセスWiFi(App)	3.01.23	更新可能
bアクセスWiFi(Sys)	1	更新不要
bアクセスWiFi(Cfg)	4	更新不要
bアクセスWiFi(Apt)	20030828	更新不要
bアクセスポイント(All)	20030909	更新不要

更新 閉じる

更新できます

インストールされているbアクセスを解析した結果、最新の状態へ更新ができる項目にはチェックボックスが表示されます。チェックをはずすとその項目に関する更新を取りやめることができます。

「更新」ボタンを押すとbアクセスの更新が実行されます。

●他社製無線 LAN ソフトウェアとの相性について

bアクセスでは WindowsXP の標準サービスである Wireless Zero Config の代わりに作動します。一部の無線 LAN アダプタに付属するユーティリティソフトウェアも同様の機能をもつ場合があります。また、一部のアダプタでは、Wireless Zero Config に対応せず、独自のユーティリティソフトウェアとの組み合わせのみで作動するハードウェアもあります(ハードウェアに搭載されている独自機能が、独自ユーティリティソフトウェアでのみ利用可能な場合もあります)。これらの特殊な場合は次の方法で回避できることがあります。なお、削除を行う前に、独自ユーティリティソフトウェアのバックアップを行ってください。

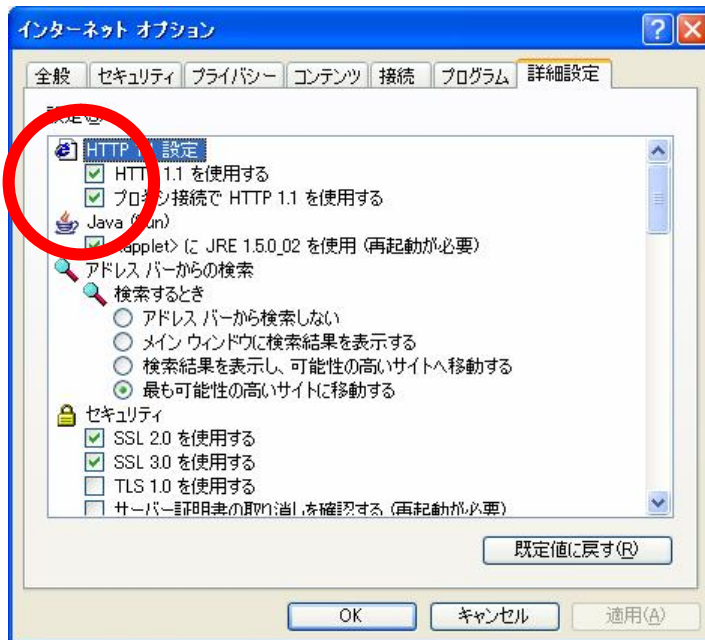
1. 独自ユーティリティソフトウェアを終了する。
2. 独自ユーティリティソフトウェアをアンインストールする。
アンインストール方法については各無線 LAN アダプタに付属のマニュアルをご確認ください。

●無線 LAN ドライバソフトウェアのアップデート

bアクセスで無線 LAN スポットをご利用の場合には、メーカーにて配布されている無線 LAN アダプタ用の最新ドライバソフトウェアが必要になる場合があります。これらのソフトウェアをアップデートすることによって、接続性が改善することがあります。ドライバのアップデートについては、事前にドライバの提供元の情報を必ず確認した上でご利用ください。

● HTTP1.1 への対応方法変更について

Internet Explorer をご利用の場合 b アクセスを起動すると効率的な通信が行えるよう HTTP1.1 という転送規格を使用する機能を有効にします。



なお、この設定は b アクセスの起動時に設定されます。

通常は問題ありませんが、ウェブページで表示が正しくおこなわれない場合にはインターネットオプションの設定を変更することで回避してください。

1. Internet Explorer のメニューから[ツール]－[インターネット オプション]を選択します。
2. [詳細設定]タブを選択し、「HTTP 1.1 設定」項目の「HTTP 1.1 を使用する」および「プロキシ接続で HTTP1.1 を使用する」のチェックを外します。
3. [適用]ボタンをクリックし、[OK]をクリックして設定変更を終了します。

ManualVersion WiFi-050603